

当施設では介護度4と5の方（4人）を対象にノーリフティングケアを導入

その4名の中で最も変化が見られた方の紹介

Cさん・・・女性、96歳、要介護5、日常生活自立度Ⅳ、体重30.7Kg

右麻痺、円背、骨折リスクが高い、

課題は就寝姿勢のポジショニング

就寝姿勢のポジショニング研修前と後との変化の違い

ポジショニング研修前

ポジショニング研修後

車椅子での様子	<ul style="list-style-type: none"> ○顔が上がらずうつむいたまま ○呼びかけにも反応は少ない ○しんどそうな様子がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○顔がしっかりと上がっている ○表情もよくなり発語もある ○呼びかけにも返答してくださる ○しんどそうな様子は見られない 																								
食事の様子	<ul style="list-style-type: none"> ○なかなか飲み込めず、口の中に溜まってしまう <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>主食</th> <th>副食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝食</td> <td>10割</td> <td>1～2割</td> </tr> <tr> <td>昼食</td> <td>1割</td> <td>1～3口</td> </tr> <tr> <td>夕食</td> <td>5割</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		主食	副食	朝食	10割	1～2割	昼食	1割	1～3口	夕食	5割	0	<ul style="list-style-type: none"> ○飲み込みがよくなり食事量に変化がみられた <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>主食</th> <th>副食</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝食</td> <td>10割</td> <td>5～7割</td> </tr> <tr> <td>昼食</td> <td>10割</td> <td>3～5割</td> </tr> <tr> <td>夕食</td> <td>10割</td> <td>5割</td> </tr> </tbody> </table>		主食	副食	朝食	10割	5～7割	昼食	10割	3～5割	夕食	10割	5割
	主食	副食																								
朝食	10割	1～2割																								
昼食	1割	1～3口																								
夕食	5割	0																								
	主食	副食																								
朝食	10割	5～7割																								
昼食	10割	3～5割																								
夕食	10割	5割																								
就寝姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ○左側臥位 ○就寝姿勢を変えると不眠になる ○褥瘡はできたことがない 	<ul style="list-style-type: none"> ○仰臥位 ○ポジショニングクッションを使い、足元から見て体にねじれがないように整える ○両腕の下にはバスタオルなどを入れて腕に重さが掛からないようにする 																								

ポジショニングをした翌日から変化がみられたことに大変驚いた

ご家族から「食事が食べられるようにしてほしい」と言われていたので、この様子をお伝えするととても喜んでおられた。

リフト体験会

リフト導入に向けた第1歩として経営者にも参加してもらって体験会を実施。

リフトがどんなものなのかわからない職員もいたので、体験会の目的を「リフトに乗る、操作する」こととする

体験会後の職員の感想

○体験するまでは「怖そう」「骨折しやすいお年寄りでも大丈夫かな」と思ったが、体験してみると思ったよりも安定していて安心して使えそうだなと思った。お風呂では浴槽に入れてあげたいと思った。

○解除する側にとっては負担が軽減され、される側にとっては怖さがなく痛みもないということが実感できた。

この事業に参加して

- ①一番の課題である入浴時の問題解決とはいかなかったが、ノーリフティングケアの重要性を考えることができた
- ②正しいポジショニングをすることで日常に変化が現れたことを目の当たりにすると、ポジショニングがいかに重要であるかを認識できた
- ③ノーリフティングケアをすることで職員の腰痛緩和につながった